

ふくし TIME'S

<http://www.knsyk.jp>

福祉タイムズ



ともしび運動

9

2008 No. 682



〈写真・菊地信夫〉

息を合わせ心をひとつに

太極拳というと、ゆったりとした動きから「健康体操」とイメージする方も多いかもしれないが、「気」の流れを意識した歴史ある武術である。腰を落とした姿勢を長時間続けるため、実際にやってみるとそのハードさに驚く。

10月に開催される第21回全国健康福祉祭かごしま大会（ねんりんピック鹿児島2008）に神奈川県代表として出場する綾瀬チームは、一昨年の静岡大会で準優勝し、その悔しさをバネに“今年こそは”と優勝をねらう。

チームのコーチをつとめる高橋ミエ子さん（77歳）は、「武術ということのを忘れると単なる踊り。見えない相手を意識することが大切」と指導にも熱がこもる。

メンバー7人のほとんどは高橋さんのかつての教え子で、今はそれぞれ指導者として活躍する実力ぞろいだ。「自分の動きだけでも精一杯ですが、周りを見ながら息を合わせ心をひとつにする。そうするとみんなの動きがひとつになってすごくかっこいいんですよ」と魅力を語る。「始めた頃はみんなについていけず悔しい思いをしましたが、気がついたらもう11年です。でもまだまだ先生の足腰にはかないませんが」と笑う。

7人が互いを思いやり、技だけでなく心がひとつになったときの力強い美しさ。その気持ちが見る人の心も魅了するのだろう。

CONTENTS

特集

適正かつ安定した経営とサービスの質の向上をめざして …… 2

NEWS& TOPICS

共同募金運動にご協力を！、県警メール110番 …… 4

福祉施設のしごと …… 5

でかけてみませんか …… 6

連載

障害者が安心して暮らせるために—第6回— …… 8

県社協のひろば

介護職再就職支援セミナー、シルバー美術展 …… 10

かながわHOT情報

地域家族しんちゃんハウス(大和市) …… 12

適正かつ安定した経営とサービスの質の向上をめざして

～経営指導事業の取り組みから～

特集

本会経営指導事業では、社会福祉施設などを経営する法人や団体が、法人経営や施設運営に関して、困った時に信頼して何時でも無料で相談できる福祉施設経営相談室の設置と、相談室に寄せられた相談からニーズを受けとめ、法人や団体に共通する課題解決のための研修の開催など、社会福祉施設の健全な経営とサービスの質の向上にむけた取り組みを行っています。今回はその取り組みについてご紹介します。

法人経営・施設運営の一助に

本会福祉施設経営相談室（以下、経営相談室）では、経験豊富な経営相談員や専門相談員が、総合的な視点から法人経営・施設運営に関する相談に無料に対応しています（相談内容は守秘としています）。

昨年度は、百十二件の相談が寄せられました。制度施策の見直しが相次ぐ中、サービス提供のための留意点と業務効率化のための改善点といった法人経営・施設運営の両立のあり方についてや、新たな法人設立準備に関する相談、法人定款の変更の方法等、内容は多岐にわたっています（表）。

法人の経営能力の向上にむけて 専門相談体制を拡充

経営・会計・税務・法律・建築関

係の専門的な内容については、各分野の専門家の協力を得て、相談に応じていますが、昨年より新たに、社会保険労務士、不動産鑑定士を専門相談員に委嘱しました。介護保険報酬の改定や障害者自立支援法の施行など、制度の変革に伴い、報酬による収益が主となり、社会福祉法人経営の大幅な

収益のマイナスも見込まれますが、一時的な経営安定のために安易な人件費抑制や業務整理による労働環境の低下を心配する声が寄せられています。

そこで、社会保険労務士に相談をつなげたところ、一時的な対応策としての人件費削減よりも、中長期的な人材育成・職員採用計画

平成19年度 相談件数

| 内 容 | 件 数 |
|-----------|--------|
| 1. 入所者処遇 | 5 |
| 2. 施設経営一般 | 41 (4) |
| 3. 職員処遇 | 8 (4) |
| 4. 会計・経理 | 9 (1) |
| 5. 安全・防災 | 1 (1) |
| 6. 衛生管理 | 0 |
| 7. 施設整備 | 4 |
| 8. 人材確保対策 | 2 |
| 9. 労使問題 | 1 |
| 10. 預り金 | 0 |
| 11. 地域交流 | 1 |
| 12. その他 | 40 (3) |
| 計 | 112 |

※ () は、専門相談

や、働きやすい職場環境づくりなど、幅広い視点から施設経営へのアドバイスを行うことができ、専門相談の体制の充実を図った結果、法人・団体のさまざまな相談に対応が可能となりました。

よりよい研修の実施をめざして

相談内容からニーズを把握

利用者からの苦情や一般市民からの施設利用に関する相談、研修講師や視察先の紹介等、経営相談室にはさまざまな相談をいただきます。

何でも気軽に窓口を利用していただくことで、他の専門相談に繋がることができたり、何よりも今どきのようないことが求められているのかといったヒントを得られる貴重な情報収集の機会となっております。こうした相談をもとに研修会を開催しています。

①法人の経営の正確性・透明性を高めるため、専門相談員として会計・経理相談を委嘱している総合福祉研究会神奈川県支部の協力を得て、平成十七年度より会計担当者を対象とした社会福祉会計簿記

研修会を実施しています。

このような研修は、一般的に受講料が高く、内容も専門的なものが多いため、法人から職員を出しにくい状況がありました。そこで、経営者部会との共催で、初級・中級・上級に分け、毎年、夏季期間に無料の研修を実施しています。

研修終了後の受講者アンケートでは、「自分の能力がどの程度なのか知りたい」「ワンランクあげて資格に挑戦したい」という声が寄せられ、福祉分野における会計の専門性を示すことが職員の意識向上にも繋がっていることが窺えており、今年度も三百名以上の受講申し込みがありました。

また、福祉総合評価機構が実施する社会福祉会計簿記認定試験（※）では、神奈川県は初級から上級の各受験者数や合格者において、全国でトップを誇っています。

②法人・施設の経営者からの「次世代の若手経営者を育成してほしい」「具体的な経営手法等を実践的に学べる機会がほしい」等の声を

受け、神奈川県社会福祉施設青年経営者会等にプログラムに関してヒアリングを行い、専門相談員として委嘱している（株）川原経営総合センターの協力を得て、平成十九年度は試行的に社会福祉法人研修会（A/Cコースまで計五日間）を開催しました。

平成二十年度は、参加者からの評価をもとにプログラムを見直し、地域開催や新たなテーマによる研修会を実施する予定です。

この他にも、制度・通知の改正等について迅速な情報提供を図るため、昨年七月に厚生労働省から「指導指針改正」の通知が出された際に老人福祉施設協議会と共催で研修を開催しました。定員を大幅に上回る百七十八名の参加があったことから、今後もこのような研修をはじめ、制度・通知の改正等に併い迅速な対応を図っていきます。

質の高いよりよいサービスを提供することができるよう、その基盤となる各法人・団体の取り組みを支援するため、今後も、引き続

き困ったときに信頼して何時でも相談できる窓口として、電話・来所相談のほか、Eメールを利用した相談の受付等、より活用いただきやすい体制づくりを図ってまいります。ご利用をお待ちしております。

（社会福祉施設・団体担当）

※社会福祉会計簿記認定試験は、今年も県社会福祉会館で実施されます。詳しくは十一頁インフォメーションをご参照ください。

経営相談室のご案内

場所

横浜市神奈川区沢渡 4 - 2
県社会福祉会館 3 F

相談時間

月曜日から金曜日 9時から17時まで

電話 045-311-8730

メール sisetu@knsyok.jp

* 専門相談は申込書にて受付(予約制)

共同募金運動にご協力を！

秋の到来とともに「赤い羽根」共同募金の季節になりました。

終戦直後の昭和二十二年、「国民たすけあい運動」の一環として始まったこの運動も今年で六十二回目を迎え、十月一日から十二月三十一日までの三カ月間にわたって、全国一斉に展開されます。

「たすけあいの心」の普及を目指して、県民一人ひとりの善意の輪を広げながら、「誰もが住み慣れた街で安心して暮らしていく」

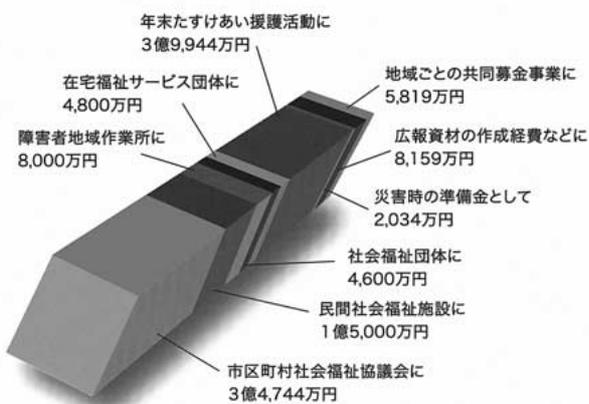
ことを願って、民間の地域福祉活動を応援してきました。今年も、県内の民間社会福祉施設や団体から目標額十二億三千百万円を大きく上回る資金要望が寄せられています。

共同募金会では、より多くの事業を支援していきたいと考えています。厳しい経済状況が続いているなかでの募金活動になります。今年もぜひご協力をお願いします。

◇共同募金運動の新たな募金・広報活動として、共同募金仕様の自動販売機の設置を推進しています。

平成20年度の
配分計画額12億3,100万円は、
次のように配分されます。

平成20年度寄付金配分計画



協力いただける施設や団体、企業などがありましたら、本会までご一報ください。
（県共同募金会）
☎045-312-6339

言語や聴覚に障害のある方専用

一一〇番通報システムが機能強化

事件や事故のニュースが絶えないこの時代、私たちがいつ、どこで、どのような事件や事故に遭遇するかわかりません。

神奈川県警察では、通常の電話による一一〇番通報を利用することが難しい、言語や聴覚に障害のある方が、外出先や自宅などで事件や事故にあわれた際に携帯電話などの機能を活用し通報できる、専用の一一〇番通報システムを平成十五年八月から運用しています。

システムには、携帯電話やパソコン等からインターネットに接続して通報する「文字対話方式」（チャット）のメール一一〇番、FAXで通報するFAX一一〇番があり、このシステムで通報すると神奈川県警察が事件や事故の内容を確認し、警察官の派遣を行います。

一一〇番通報システムについては以前にも本紙で紹介しましたが、この八月よりシステムの機能

①メール110番 通報アドレス

<http://www.kanagawa110.jp>

（緊急時のためにブックマークやお気に入り登録しておいてください）



QRコード

②FAX110番専用番号

0120-110221（フリーダイヤル）

（FAX110番通報用紙は、神奈川県警察ホームページに掲載してありますので事前にご準備ください）



※なお、Eメール方式は平成20年12月31日で完全廃止し、文字対話式のメール110番に一本化されます。

《問合せ先》

神奈川県警察本部 通信指令課

☎045-211-1212

内線3621

が強化され、対応機種の拡大（PHS・パソコン可）や、発信地表示機能（※第三代携帯電話のみ）と現場画像送信機能の追加など、さらに使いやすくなりました。詳しい内容は神奈川県警察本部のホームページをご覧ください。

<http://www.police.pref.kanagawa.jp/mes/msg2009.htm>



介護老人保健施設 「しょうじゅの里大和」 通所リハビリ責任者



関野 睦美

つていました。今改めて考えると、「大切な茶器から手を離す時、心を寄せながら、今から手を離しますよ。大丈夫ですわね」という意味で、それは物に対してでも人に対してでも共通する事だと実感しています。

介護保険のない頃、寝たきり老人の訪問歯科診療に歯科衛生士として関わっていた私は、地域の中で孤立している家族を目の当たりにし、「何かできないか」とケアマネジャーを目指しました。ケアマネとしての経験も経て、その後、昨年の十一月からは通所リハビリの責任者として働き始めました。

これまで、たくさんの方の言葉に支えられてきました。その中でも特に心に留めてきている二つの言葉があります。

忙しくても心を寄せて

一つは、茶道の師匠からの「笑顔を忘れず、心を込めて手を離す」。

教えられた時には、「やさしい笑顔で丁寧な物を置く」事だと思

介護の現場は、本当に忙しい毎日です。疲れていると、一日の仕事をこなすのもやっと。この方の

介助の後には次の方、この仕事が終わればアレをする。気持ちが急いで次の事に目がいつてしまう。相手の方は上辺だけの笑顔だと感じとっているのではないのでしょうか。そんな時にはこの言葉を思い出そうように心がけています。

心を込めて接すれば思いが届く

もう一つは、寝たきり老人の訪問歯科診療に同行した時の事です。介護保険のない頃、在宅で寝

たきりのお姑さんを二十年近くお世話していたお姑さんがいました。お姑さんはいつ訪問しても四六時中悪態をつかれていたので、「良く頑張っているらしいです」と、お嫁さんに声を掛けたい所、



「幾度、今すぐ何もかも投げ出して逃げたいと思った事か！でもね、寝る前二人きりになった時、必ず一日に一回、ありがとね」と手を握って真直ぐ目を見て言ってくれるんですよ。その一言で救われる。明日もう一日だけ頑張ってみようと思つて二十年頑張つて来られた」そうです。

心を込めて言葉を発し、心を込めて人に接すればその思いが届くと信じ、私も実践して行きたいと思つています。

■しょうじゅの里大和
大和市上和田2633
☎046-1268-18666

介護老人保健施設とは
看護・医学的管理の下における
介護や機能訓練、その他必要な医療並びに日常生活上の世話を行う施設。県内には百五十八箇所。

第三者の**眼**で評価します

- ★福祉サービス第三者評価
高齢・障害・保育・児童・保護分野
- ★地域密着型サービス外部評価
- ★横浜市指定管理者第三者評価

※ 評価の日程等ご相談に応じます

福祉サービス第三者評価機関しょうなん
株式会社 **フィールズ**
〒251-0024
藤沢市鵜沼橋1-2-4クゲヌマファースト3F
Tel: 0466-29-9430 Fax: 0466-29-2323
E-mail: hyouka@s-pado.co.jp

NEO!
Communication
PORTSIDE

株式会社ポートサイド印刷

〒236-0002 横浜市金沢区鳥浜町16-2
Tel.045-776-2671(代)
Fax.045-776-2678
<http://www.portside.co.jp>

A4フルカラー2.5円 毎分
120枚の高速フルカラー
プリンター

理想科学 オルフィス HC5500

※yahooで「株式会社八雲堂」と検索してください
理想科学 神奈川県正規代理店
株式会社八雲堂
〒235-0045
横浜市磯子区洋光台6-20-6
TEL 045-833-5172 FAX 045-833-5149

紅谷パールロード商店街(平塚市) ～江戸時代からの宿場町を散策～

県と共同でいち早く福祉のまちづくりを実施してきた平塚市。JR平塚駅の北側は、江戸時代の宿場町が発展して現在のまちになったそうです。今回は、JR平塚駅北口より徒歩3分、独自イベントも多数企画・開催している「紅谷パールロード商店街」をたずねました。

全面バリアフリーで買い物に便利

両サイドに爽やかな緑の並木が続く紅谷パールロード商店街は、車道と歩道の段差が無くバリアフリーになっています。車道も緊急車両等を除いて約1キロにわたり全日車両通行止めなので、安心して散策できますし、歩道にはアーケードが設置されているので雨の日の買い物にも便利です。

通りにはバラエティ豊かな店舗が並び、商店街に加盟する51店舗の多くは出入口の段差が無く、車椅子で気楽に好きなお店に入れます。



江戸時代から続く有名な老舗から若者向けのショップや大型ショッピングストアまで、老若男女問わず多くの人々が利用する、平塚駅前の中心的商店街です。

ちょっと困ったことをひとつ・・・広い車道には、自転車やオートバイの違法駐車が多く、人通りが多いこの商店街を歩くときは注意が必要です。商店街の振興組合でもこれらの対処が今後の課題だそうです。

多彩な市民参加イベント

商店街では季節にあわせてさまざまなイベントを開催しています。これからの季節のおすすめ

今月は ⇒ NPO法人神奈川県障害者
自立生活支援センター がお伝えします!

通称KILC(キルク)。1997年4月設立。障害者の自立生活を目指してピアカウンセリング(障害者による相談事業)や各種情報提供、障害者施策の研究・提言など障害当事者の目線で共生社会の実現を目指した活動を展開。現在、厚木・平塚2ヶ所を拠点に活動中。

<連絡先> [法人本部] 厚木市愛甲953-2
TEL: 046-247-7503 FAX: 046-247-7508
URL: <http://www.kilc.org> E-mail: info@kilc.org

めとして、一つめは10月の「ひらつか市民市」。市民の方なら誰でも参加できる不用品のバザーには掘り出し物も多く、毎年多くの方が足を運びます。

二つめは、同じく10月に開催される「湘南ひらつか囲碁多面打ち大会」。多くのプロを輩出している平塚市では、当大会の開催をはじめ市民への囲碁の普及を目指しており、プロ・アマの棋士を問わず、500組が一行に並び対抗戦を繰りひろげる光景は圧巻です。もちろん囲碁の好きな人なら障害を問わず誰でも参加できます。これらのイベントについては下記のインフォメーションまでお問合せ下さい。

最後に、商店街には平塚名物を扱うお店が沢山ありますが、イチ押しは「都まんじゅう」。安くて美味しいのでお土産には最高です。是非、足を運んでご賞味下さい。

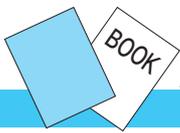
インフォメーション

紅谷パールロード商店街振興組合
平塚市紅谷町4-1 マキノビル3F
電話 0463-21-0438 FAX 0463-24-2360
ホームページ <http://www.pearlroad.jp>
メールアドレス pearl-rd@ma.scn-net.ne.jp

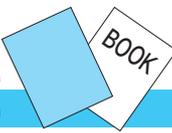
■車椅子トイレは駅ビル・ラスカをご利用下さい。
(2階・3階・5階・6階が、車椅子トイレ。5階・6階はオストメイト対応)

■駐車場は、商店街に接している市営の紅谷町駐車場(車椅子トイレ有り)、錦町駐車場を利用すると便利です。

◆子育て中の方や障害のある方にやさしい工夫をしている商店街の情報を募集します!ご意見・ご感想は kikaku@knsyk.jpまでお寄せください。



今月の福祉資料室



「福祉資料室」をご利用下さい!

◆利用時間: 月～金(第3金曜日、祝日、

年末年始等を除く)の9時～17時

◆問合せ: ☎045-311-8865

図

書

資

料



鎌倉女子短期大学部
教授 國本 翠

私のおすすめの1冊

「相田みつをいのちのことは
育てたように子は育つ」

相田みつを 書
佐々木正美 著

10年近く前に出会った本が、昨年文庫本になっ
て本屋の店先を飾っていました。

相田みつをさんの詩にも心引かれる思いがあり
ますが、佐々木正美さんとのコラボレーショ
ンは、さらに魅力的です。

中に「そのままがいいがな」という言葉があり
ます。大好きです。無条件に受
け入れる事のすばらしさと、意外
と困難が伴うことを考えさせら
れます。思い悩む心地よさとと
もに、今の心の動きに添う一冊の
本です。

自分の居方によって、いろい
ろなメッセージが聞こえてくる
という不思議な体験をしてみ
てください。



1999年2月刊
1575円(税込)
小学館
文庫版は590円(税込)

★改訂失語症の人と話そう失語症の理解と豊かなコミュニケーションのために(NPO法人言語障害者の社会参加を支援するパートナーの会・和音編、中央法規出版)

★新版介護労働者の雇用管理総論「モデル就業規則」付(安西愈著、介護労働安定センター)

★「気になる子ども」の教育相談ケース・ファイル(新井英靖著、ミネルヴァ書房)

★教科書が教えてくれないケアマネ業務(本間清文著、雲母書房)

★高齢者のための転倒予防10種運動(小林暁作著、生活ジャーナル)

★福祉サービスマス第三者評価の実践(評価者の心得(NPO法人福祉経営ネットワーク編、筒井書房))

★精神障害者の退院と地域生活定着に向けた医療福祉包括型ケアマネジメントのあり方の検討(未安民生「主任研究員」、日本精神科看護技術協会)

★保護のてびき 平成20年度版(生活保護制度研究会編、第一法規)

★平成18年度 社会福祉行政業務報告「福祉行政報告例」(厚生労働省大臣官房統計情報部編、厚生統計協会)

★平成19年度 かながわ福祉サービスマス適正化委員会事業報告書(神奈川県社協かながわ福祉サービスマス運営適正化委員会)

社会福祉施設
総合損害補償

しせつの損害補償

ホームページでも内容を紹介しています。
<http://www.fukushihoken.co.jp>

社会福祉施設のさまざまなリスクに対応するために!

プラン1

施設の業務中事故賠償補償

- ① 基本補償
 - 基本補償(A)は、法人業務を包括的に補償
 - 見舞費用付補償(B)は、賠償責任のない場合の見舞金も補償
 - オプション・医療事故補償も充実
- ② 個人情報漏えい対応補償
 - 個人情報漏えいによる法律上の賠償責任を負った場合(おそれのある場合を含む)に補償
 - クレーム対応費用、見舞品購入費用等を補償

プラン2

施設利用者の傷害事故補償

- ① 入所型施設利用者
- ② 通所型施設利用者
- ③ 不特定多数利用者

プラン3

施設送迎車搭乗中の 傷害事故補償

- 施設送迎車に搭乗中の傷害補償
- 施設の過失の有無は不問

プラン4

施設職員の災害事故補償

- ① 施設の労災上乘せ補償
- ② 施設職員の傷害事故補償
- ③ 施設職員の感染症罹患事故補償

プラン5

施設の什器・備品 損害補償

- 施設内の什器・備品を幅広い範囲で補償
- 施設の現金等も補償

◆加入対象は、社会福祉法人等で運営している社会福祉施設です。

- 全国社会福祉協議会のスケールメリットを活かし、充実した補償内容
- 団体契約のため有利な補償と割安な保険料(掛金)
- 迅速で丁寧かつ適正なお支払い

●この保険は全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約(「賠償責任保険」「傷害保険」「労働災害総合保険」「約定履行費用保険」「動産総合保険」)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記にお願いします

社会福祉法人
全国社会福祉協議会

株式会社 福祉保険サービス
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763

〈引受幹事保険会社〉株式会社 損害保険ジャパン

〈SJO7-11871.2008.2.27作成〉

在宅生活を支えるために ヘルパーの減少の背景にあるもの

平成十五年の支援費制度の施行により、居宅介護サービスの利用は大幅に増え、障害者の生活の幅も広がってきました。「地域生活移行」を目指した障害者自立支援法（以下、「支援法」）の成立からも、ホームヘルプ等をはじめ在宅生活を支える制度はますます重要になってきています。しかし、障害者に対応するヘルパーの数は、昨今、減少の一途をたどっています。今回は、その背景を明らかにしながら、障害者の在宅生活を支えるための居宅介護サービスについて考えます。

ホームヘルパーの減少による サービス利用の危機

高齢者の介護職の人材不足は深刻ですがそれは障害でも同様です。

特に、重度訪問介護事業所での状況は厳しく、今年の四月に行われた、DPI日本会議や全国自立生活支援センター協議会からなる「障害者の地域生活確立の実現を求め全国大行動実行委員会」の調査（事業所五十四か所、利用者百五十一人、ヘルパー八百七十七人について集計）によると、重度

訪問介護に従事するホームヘルパーは身体介護などと比べ報酬単価が低く、そのため人材確保は困難を極め、ヘルパーの減少により事業所自体の経営ができなくなっている例も見受けられます。

当事者による重度訪問介護従事者の養成研修を行っている、神奈川県障害者自立生活支援センター（以下、「KILC」）の鈴木治郎事務局長は、「人手不足から、最近研修を開催しても、なかなか人が集まりません。まずは報酬単価を上げ、ヘルパーとして安定し

た生活が送れるようにすることが欠かせない」と断言します。

ヘルパー紹介を行っているあつぎ障害者自立生活センター（以下、「ILあつぎ」）では、障害者への派遣自体が断られることが多く、依頼を引き受けてくれる事業所を探すために、一人あたり五十〜六十件は電話をしなければならぬそうです。

障害者のヘルパーを派遣する事業所の多くは介護保険サービスをメインの活動としているようですが、相談員の桐生千広さんによると、そのような「障害分野の敬遠」の背景には、報酬単価が介護保険よりも低いという問題のほか「支援の難しさ」もあるといいます。

介護保険ヘルパーにとっての 障害者支援の難しさ

「介護保険の経験のあるヘルパーさんは、障害者支援にケアプランのような「決まり」が設定されていないことに初めは戸惑うかも知れません」と、障害当事者で厚木市の居宅介護事業所の連絡会の

代表である「ハートピアラ」所長の大塚隆一さん。

身体障害者や知的障害児の居宅介護、重度訪問介護を中心に、一部介護保険の訪問介護も実施しているハートピアラでは、採用したヘルパーに障害者へのサービス提供を行うにあたってぜひ身につけてほしい技術を学んでもらおうと、現場研修を中心に先輩職員からの指導や、ビデオ等を使用した内部研修を行っています。

大塚さんは、「私たちのような、ほぼ障害専門になっている事業所では内部で研修ができますが、介護保険メインの事業所は、障害について学ぶ機会はほとんどありません。連絡会の中で行う事例検討以外にも「もっと勉強したい」という声があがっています。食事や排泄場面での支援など当事者を講師にしたわかりやすい研修に簡単に参加できる環境が整備されれば障害の派遣依頼を受けてくれる事業所ももっと増えるのではないのでしょうか」と、研修制度の充実が事業所の「障害分野の敬遠」に歯止めをかけ、サービスの安定的な

「顔の見える関係」で
人と人を結ぶ

みなみあしがら
ボランティアセンター
コーディネーター

下田 浩子



とうが立った新人職員がコーディネーターを始めて3年の月日が流れました。ここで出会う人達が今の私の原動力です。それぞれの立場で思いを持ち活動をされる姿勢に、いろいろな場面で元氣と勇氣と心からの笑顔をもらい、気づけば背中を押していただいています。

中でも団塊世代の男性を対象とした事業から立ち上がった『おやじ倶楽部』の方たちとの出会いは、生きてきた重みは比べものにならないのですが、年齢を重ねてから福祉の世界を初めて垣間見た私自身に重なる部分が多くありました。

仕事一筋、自身や家族の為に生きてきた男性が社協の存在や活動を知り、地域の高齢者や障害者に目を向け、関わりを持つ。今までバリバリと仕事をし築き上げたおやじの『品格』と『知性』と『根性』を、新たに出会った仲間と地域福祉への新しいボランティア活動の形として思う存分活躍していただけるようにコーディネーターとして関わっていきたくと思います。

みなみあしがらボランティアセンターは、南足柄市社協福祉推進グループの全職員が団結して運営されています。人と人を結ぶ素敵な空間を「顔の見える関係」でこれからも作り上げていきたいと思っています。

供給につながるといいます。

また大塚さんは、「利用者の中には、若くして怪我をし、障害を“受容”できていない方もおり、人間関係も不安定な中でヘルパーとうまく接することができず、何度もヘルパーを替えることもありえます。簡単ではないですが、そういった方の気持ちに寄り添うこともヘルパーの仕事の大事な部分」だと語ります。

事業所の経営は厳しいですが、「利用者の生活を守るといふ社会的役割は大きいですから、辞めるわけにはいきません」と話します。

基盤整備のために行動を！

「国は施設入所者の地域移行や精神障害者の退院促進を目標にしていますが、地域の受け皿は全く足りていないということ伝えていかなければと思っています」と桐生さん。

ILあつぎが参加する厚木市・愛川町・清川村合同の地域自立支援協議会では、このような居宅介護事業の状況について整理するため、独自に居宅介護事業所等にアンケート調査を実施し、十一月までには結果をまとめる予定です。

障害を持った方の“安心して地域で暮らしたい”という思いに伝えるために、「事業所等が抱える課題をはっきりさせ、基盤整備に向けて行動していきたい」とのことです。



ヘルパーの減少に対しては、報酬単価の引き上げとともに、障害者の介助を行ううえでの技術や理解を深めるための研修環境を整えることが必要だと課題が提起されました。

厚木市・愛川町・清川村合同の

地域自立支援協議会では、障害者の“地域で安心して暮らしたい”という思いに伝えるために、その基盤強化に向けて動き出しています。

事例でも挙げられたように、複数の事業所が合同で学びあい、互いに技術を高めあっているような機会の設置など、多忙な業務の中ではありますが、地域の中でも取り組むことができるのではないのでしょうか。

介護職への再チャレンジを支援― 初めてのセミナー、厚木で開催

今年度より七月二十一日～八月三日が「福祉人材確保重点実施期間」と定められたことを受けて、期間中の七月二十五日・二十六日、厚木商工会議所にて「介護職再就職支援セミナー」を開催しました。

県介護福祉士会と厚木市内の高齢および障害分野の施設長、職員の協力を得て、介護の最新知識や実習、現場からのメッセージなど、充実した内容となりました。

二日間の参加者はのべ三十四名。子育てで一度は現場を去った人、家族の介護を経験してこの仕事に目覚めた人など、背景はさまざまです。「常勤はむずかしいが、



新しい楽しみも、ユーモアまじりの実習も、参加者の距離も縮まりました。自立を助け、介護者にも楽しい介護技術。ユーモアまじりの実習も、参加者の距離も縮まりました。

あいている時間でやりがいのある介護の仕事をした」という声も多く聞かれ、介護職の雇用の場として、柔軟な受け皿の用意の必要性を感じました。

セミナーの最後には「介護の現場に戻りたい気持ちが一層強くなった」「介護の仕事は双方向。人生で見えない宝物をもらえる仕事」など、参加者同士、思いを確かめあう場面もありました。

二日目は就職相談会も並行して開催しましたが、ここにも足を運び、熱心に施設関係者等から話を聞く参加者の姿が見られました。

介護職への熱い思いをもつ人と、こうした人材を求めている事業所、この両者をどうつないでいけるのか。雇用のあり方や職員定着のための支援方策など、従来の方法への工夫や変革も視野におきつつ、関係者・機関が一体となって考え、取り組んでいく時期がきていると感じた二日間でした。

※今後のセミナー、就職相談会等の予定は随時本会ホームページにご案内します。

(福祉人材センター)

第七回かながわ シルバー美術展開催

高齢者の創作活動を通じた生きがいづくりを応援することを目的に、第七回かながわシルバー美術展を去る八月二十八日から三十一日まで県民ホールギャラリーにて開催しました。

日本画、洋画、彫刻・工芸、書、写真の五部門に計六〇三点が出品され、どの作品も長年にわたり培われた豊かな感性と、創作意欲にあふれた力作揃いではありましたが、審査の結果、入選した四七九点を展示させていただきました。

今回、大賞(県知事賞)を受賞したのは、洋画の部で出品した田辺勝之さんの作品「親子」。

田辺さんは、現在六十四才。五十三才の頃から定年後の過ごし方を考え、「ずっと続けられるものを」と絵画を始め、独学で学んできました。

現在、知的障害者の施設に関わりつつ絵筆を握っているそうです。絵を描いているとき、ふと職場の方や利用者の方の顔が浮かび、

「力をもらって描いている“ような気がする”こともあるそうです。

シルバー美術展は今回が初めての応募ということですが、「今回の受賞は、とても励みになる。今後コツコツと続けていきたい」と、笑顔で語ってくれました。

また会場には多くの方にお越しいただきましたが、秀作揃いに「ふつつ」と新たな創作意欲を湧き上がらせているようでした。

(福祉ボランティア・

シニア活動支援担当)



この親子を描いた大賞受賞作品を前に笑顔の田辺さん

かながわ権利擁護相談センター(あしすと) 発足10周年・第三者評価普及合同シンポジウム開催

「地域で安心して生活できる利用者本位の福祉サービスの実現に向けて」をテーマに、福祉サービスの利用者や事業者等が一堂に会し、権利擁護や福祉サービスの質の向上のこれからを、元厚生省社会・援護局長炭谷茂氏による基調講演やリレーメッセージからともに考えます。

◇日時 平成20年11月15日(土) 13時15分～16時45分

◇会場 横浜情報文化センター・情文ホール(みなとみらい線日本大通駅徒歩1分)

◇対象 福祉サービス利用者・事業者、市町村、地域包括支援センター等相談機関、社協、第三者評価機関、本テーマに関する団体、個人など

◇定員 200名。参加費無料

◇申込締切 平成20年10月31日(金)

※定員に達し次第、締切

◇申込・問合せ かながわ福祉サービス第三者評価推進機構
☎045129017432

平成21年度社会福祉事業研究 開発基金助成事業

社会福祉に関する処遇技術の開発等、先駆的・開発的事業に対する助成を行います。

◇助成額 1件上限50万円 ※別途、上限100万円の特別助成あり。

◇助成件数 15件程度

◇締切 平成20年9月30日(火) 書

類必着

◇選考・決定 決定は12月、助成は平成21年1月の予定

◇問合せ 住友信託銀行年金信託部 業務企画チーム 気付 助成申込係
☎031625613581

平成21年度福祉医療機構助成事業

①高齢者・障害者福祉基金、②子育て支援基金、③障害者スポーツ支援基金の各テーマに関する事業について地方分助成を行います。

◇助成対象 社会福祉の振興に寄与する事業を行う法人または団体

◇助成額 1事業年度200万円

◇締切 平成20年10月31日(金) 当日消印有効

◇募集要領等 <http://www.wamg.o.jp/wam/gyoumu/kikinjyou/>

◇問合せ 本会としび運動推進担当 ☎04513121121 (県域団体)、横浜市社協市民活動支援課 ☎045120118620 (横浜市内団体)、川崎市社協ボランティア活動振興センター ☎044173918718 (川崎市内団体)

第4回社会福祉会計簿記認定試験

年々複雑になりつつある社会福祉法人の会計業務に準拠した認定試験を実施します。

◇日時 平成20年11月9日(日)

◇試験会場 神奈川県社会福祉会館

(※全国47都道府県全49会場)

◇受付期間 平成20年9月1日(月)～9月30日(火) ※締切間近

◇受験料 初級・6千300円(税込)、

中級・8千400円(税込)、上級・1万6千800円(税込)

◇問合せ NPO法人福祉総合評価機構 ☎031335216730 <http://www.fukushi-hyokanet/>

年金記録確認にご協力ください

社会保険庁では10月までの間に「ねんきん特別便」を送付します。必ず確認して頂き、回答ください。◇問合せ 「ねんきん特別便専用ダイヤル」 ☎057010581555

寄付金品あしがらごじつになりました

【一般寄付金】▽広瀬公子▽脇隆志 【としび基金】▽神奈川県立音楽堂(財)積善会 曾我病院▽富士シテイオ(株) FUJI天神橋店▽富士シテイオ(株) FUJI三崎店▽遠藤寂香 (計、158、179円)

【寄付物品】▽神奈川県定年問題研究会▽神奈川県南県事務所▽としび製品展示コーナーOB会▽横浜市港南区地域ケアプラザ▽リコーテクノシステムズ(株) (敬称略)

地域福祉(ともしび)推進 助成金 申請受付中!

15万円以下

12月末までの毎月(随時申請受付)

16万円以上(限度額あり)

10月末迄(1回申請受付)

本会としび運動推進担当

☎045-312-1121(内線3201)

まで、お気軽にご相談ください!

神奈川県福祉研究会

(税務・会計の専門家グループ)

理事 伊藤 正孝(☎045-412-2110)

同 桑江 郁男(☎045-402-4433)

同 辻村 祥造(☎045-311-5162)

同 西迫 一郎(☎046-221-1328)

同 林 雄一郎(☎0466-26-3351)

代表理事 八木 時雄(☎042-773-9266)

一般家庭から大型ビルまで 最新のエレクトロ技術により 安心と安全を提供します。

 京浜警備保障株式会社

代表取締役社長 谷口 嘉弘

本社 〒221-0056 横浜市神奈川区金港町5番地10 金港ビル4F内
☎(045)461-0101 代表 FAX (045)441-1527

あなたの情報発信のおてつだい
デザイン・印刷・ホームページ制作



きかん印刷
株式会社 神奈川機関紙印刷所

〒236-0004 横浜市金沢区福浦 2-1-12
営業部 TEL045(785)1700(代) FAX045(784)8902
制作部 TEL045(785)1768 FAX045(780)1588
<http://www.kki.co.jp/>



買い物ついでに気楽においでよ！子どももーる

NPO法人地域家族しんちゃんハウス(大和市)

核家族化・少子化など、子育て家庭をめぐる環境が変化する中、子育てに悩みや不安を抱える親が増えています。子育て支援施策の充実が求められていますが、安心して子どもを生み育てられるため何よりも大切なことは、身近な場所での支援を受けられることです。

安心できる場所へ

大和市にあるNPO法人「地域家族しんちゃんハウス」は、地域の中で楽しく子育てができる環境づくりをめざし、学童保育や、親子で楽しむ絵本の読み聞かせなど、さまざまな活動をしています。

理事長の館合みち子さんは「子どもが安心して遊べ、何か困ったときに相談できる場所があること。その存在を知っているだけでも母親は心強いのでは」と語ります。また、そうした思いを原点到、大和市より委託を受けて、イオン

モール大和にある「子どももーる」(*の運営にも取り組んでいます。

みんなおいでよ!

「子どももーる」は、子育て中の親子が気軽に集まり、相談や情報収集ができる広場です。昨年十月のオープン以来、大和市内はもちろん市外からもたくさんのお親子が訪れているそうです。

「ショッピングモールは身近な場所ですし、駐車場の心配もいりません。ここなら買い物のついでに寄りやすいですよ」とスタッフの荻野美貴さん。年末年始を除くイオンモールの開店日の十時～十八時

まで開設され、保育士や栄養士を含む二名の専門スタッフが常駐しています。離乳食の相談も気軽にできるの



は魅力です。

八月は父親の子育てを応援するというテーマで講座が開催され、十七日のバールンアートの講座では、講師の手で次々と動物などが作られる様子に、思わず大人も夢中になっていました。

未来を信じて

「子どもたちには自分の意思で行動できるようになってほしい」と願う館合さん。身近な場所で活動することを大切にしながら、スタッフの皆さんとともに、子どもたちの心身を育んでいます。



学童保育はいつもにぎやかに

私たちの宝である子どもたちの明るい未来を信じ、その健やかな成長を見守っていきたいものです。

(*)ともしび運動推進担当

(*)「子どももーる」は大和市内に二カ所設置。つきみ野サティ(運営:NPO法人ワーカーズコレクションティブチャイルドケア)にもあります。

地域家族しんちゃんハウス

大和市南林間7-1-15
TEL・FAX 046-1275-17955
<http://www.shinchanhouse.com/>

— 社会福祉施設の設計監理 —

株式会社 安江設計研究所
YASUE & ASSOCIATES' Inc.

東京都港区高輪2-19-17-808
TEL 03(3449) 1771 / FAX 03(3449) 1772
URL: www.yasue-sekkei.co.jp
E-mail: yasue@yasue-sekkei.co.jp



M保育園 (相模原市)



新築・増築・改修の他、耐震診断・建物定期報告・アスベスト調査等お気軽にご相談ください